

## 27日 火曜

### 使徒



4:13 彼らはペテロとヨハネの大胆さを見、また二人が無学な普通の人であるのを知って驚いた。また、二人がイエスとともにいたのだということも分かってきた。

4:14 そして、癒やされた人が二人と一緒に立っているのを見ては、返すことばもなかった。

4:15 彼らは二人に議場の外に出るように命じ、協議して言った。

4:16 「あの者たちをどうしようか。あの者たちによって著しいしるしが行われたことは、エルサレムのすべての住民に知れ渡っていて、われわれはそれを否定しようもない。

4:17 しかし、これ以上民の間に広まらないように、今後だれにもこの名によって語ってはならない、と彼らを脅しておこう。」

4:18 そこで、彼らは二人を呼んで、イエスの名によって語ることも教えることも、いっさいしてはならないと命じた。

4:19 しかし、ペテロとヨハネは彼らに答えた。「神に聞き従うよりも、あなたがたに聞き従うほうが、神の御前に正しいかどうか、判断してください。

4:20 私たちは、自分たちが見たことや聞いたことを話さないわけにはいきません。」

4:21 そこで彼らは、二人をさらに脅したうえで釈放した。それは、皆の者がこの出来事のゆえに神をあがめていたので、人々の手前、二人を罰する術がなかったからである。

4:22 このしるしによって癒やされた人は、四十歳を過ぎていた。

議会は保身のためにペテロたちを捕らえましたが、保身のために罰することができませんでした。「人

を恐れる者はわなにかかる」と箴言にあります。人は神の前には何ほどの力もないのです。

またふたりが無学であることで驚いたとありますが、決して無知であったものではありません。イエス様がメシアであることを論証するのに十分な知識と知恵があったのです。主の使命によって召されたならば、人間の尺度に縛られる必要はありません。ヤコブ書にあるように、謙遜に「欠けた」ところを認めて、大胆に「神に求めれば」よいのです。

もしも私たちが信仰のゆえに何らかの攻撃を受けたなら、19節のことばこそ信仰の宣言となるでしょう。自分で戦わずとも神様が戦ってください。このときは「神をあがめていた」みなの方を用いて主が守ってくださいました。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

